

4

No.564
APR.2018

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協



理事会を開催



日立地区支部総会を開催



ものづくり先進企業見学会・大和ハウス工業を見学

CONTENTS

- 01 第4回理事会開かれる
平成30年度活動計画・予算案を承認
- 03 委員会報告
科学技術特別／青年経営研究会
- 04 支部だより
県北／日立／常陸・那珂／取手・龍ヶ崎／古河・坂東／鹿行
- 09 「平成29年度 会員増強運動」の状況
- 10 新入会員のご紹介
- 12 NPO情報Vol.210＜横田能洋＞
「出前『防災教育』いたします」
- 13 会員データ変更届

平成30年度活動計画・予算案 活動の充実を目指す新規事業などを承認



当協会は、3月16日（金）、茨城県産業会館において、平成29年度第4回理事会を開催した。

会議には理事、監事、参与48名が出席した。

冒頭、鬼澤邦夫会長が挨拶に立ち「日銀水戸事務所の金融経済概況によりますと、『緩やかに回復している』との見方は変わっておりませんが、米朝関係をはじめとした北朝鮮をめぐる情勢が、ここに来て急展開を見せておりますので、私どもも、その推移を注意深く見守りながら、気を引き締めて企業経営にあたっていく必要があると感じております。本年度は、創立70周年の節目の年に当たり、6月7日の記念式典を初め様々な記念事業を開催させていただきました。また、平成

29年度から31年度までの3カ年計画の「第8次中期運営要綱」の初年度であり、会員の声に耳を傾け、会員・地域から「頼りにされる」茨城経協へと進化するに則り、事業活動を展開してまいりました。会員増強活動につきまして、役員の皆様の協力により中期運営要綱の目標の1,200社を前倒しで達成することができました。皆様のご協力に対し心より感謝申し上げますとともに、引き続きご協力をお願いいたします。本日は、事業活動報告、事業計画案、収支予算案などについてお諮りしたい。忌憚のないご意見をいただきたい」と述べた。

続いて、①会長および専務理事の職務遂行状況と平成29年度事業活動報告及び同収支決算（見込）、②新入会員の入会の

承認、③平成30年度事業活動計画案及び同収支予算案、④役員案が承認された。特に事業活動計画では、会員の声や要望を踏まえ活動の充実を目指す新規事業について事務局より説明があった。

議事終了後、日本棋院六段の大橋拓文氏を招き「AlphaGoの進歩と私たちの関わり方」と題した講演を伺った。

平成30年度の活動方針（案）

平成30年度は、第8次中期運営要綱（平成29年度～31年度の中期計画）の中間年度であり、要綱に掲げた『会員の声に耳を傾け、会員・地域から頼りにされる茨城経協へと進化することをめざし、①会員へのフォロー、情報収集・情報発信の強化、②会員交流機会の拡充、③研修・セミナー事業の更なる内容充実、④地域社会への貢献活動の強化、⑤政策提言力の向上の5つの重点に取り組んでまいります。

会員の皆様の声や要望を積極的にヒアリングさせていただき、課題解決、経営力向上を支援し、企業活力の高揚に取り組み、地域経済・地域社会の活性化に貢献してまいります。

【重点事業】○印は平成30年度の新規事業

1. 会員へのフォロー、経営力向上のための情報収集・情報発信の強化
 - (1) 会員訪問活動の強化、得られた要望を踏まえた事業活動の展開
 - (2) 経営・人事・労務・人材育成、人材確保分野の情報収集・発信
 - (3) 人事労務および環境経営等の経営労務相談活動の充実
 - 「働き方改革」に関する調査・研究レポートの発刊
 - 人材確保を目的として大学、高校との産学懇談会の拡充
2. 会員相互のネットワークづくりのための交流機会の拡充
 - (1) 時間、テーマ、場所、人数など新たな切り口の交流機会の拡充
 - (2) 会員企業の経営力・技術力向上とビジネス交流の機会の提供・支援
 - (3) 多様な交流機会の拡充（青年経営研究会、女性活躍研究会等）
 - 設計開発者等との交流を図る“ものづくり商談会”の開催
3. 会員のニーズを踏まえた研修・セミナー事業の充実
 - (1) 会員の声を踏まえた、研修・セミナー内容のスクラップ&ビルド推進
 - (2) 先進的経営、環境経営、人材育成の事例紹介・勉強会の開催
 - (3) “働き方改革”等、人事労務分野の研修・セミナーの充実
 - “IoT活用セミナー”、“助成金活用&事業承継セミナー”の開催
 - “無料セミナー”の拡大
4. 「豊かな茨城づくり」のための社会貢献活動の強化
 - (1) 地域貢献活動の充実
 - (2) 「安全安心なまちづくり運動」の継続
 - (3) 次世代を担う若者の育成のための「県内大学への寄付講座」の継続
 - 茨城の地域再発見のための“いばらき塾”の開催
 - 「茨城における企業行動憲章」の改定
5. 地域社会発展のための政策提言力の向上
 - (1) 会員ニーズ把握、政策提言・要望活動とその実現
 - (2) 経団連、茨城産業会議を通じた政策提言・要望活動
 - (3) 要望内容の検証と会員へのフィードバック強化
 - “県政要望”の成果・結果を会員に分かり易くフィードバック

いばらきの見学スポットパンフレット をご活用ください



当協会創立70年記念事業として、会員の方々にご投票いただき、茨城県内の見学可能なスポットを紹介させていただくパンフレット（左記）を作成させていただきました。まだ残部が500部ほど（A4版、ジャバラ5山の2種類）ございますので、ご希望の方は下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

（1社30部以内でお願いします）

事務局担当：高橋、加藤 TEL：029-221-5301

科学技術特別委員会

大和ハウス工業(株)竜ヶ崎工場を見学



科学技術特別委員会(委員長 村山貢一氏(株)日立製作所日立事業所長)は、去る3月27日(火)、「ものづくり先進企業見学会」を開催し、計43名が参加した。

本見学会は例年、会員企業の製品開発能力や技術向上の一助として、ものづくりをされている先進企業の取り組みを見聞し、生産現場の改善や革新的なものづくり精神などを学ぶ機会として実施している。

今回のものづくり先進企業見学会では、首都圏の工業化住宅量産工場として、1都2県

(東京都、神奈川県、千葉県)向けの戸建住宅・賃貸住宅用部材の生産および出荷を行っている、大和ハウス工業竜ヶ崎工場のご協力をいただいた。

当日は始めに、同社竜ヶ崎工場長の平原和洋氏より、ご挨拶と会社概要等についてのご説明の後、大和ハウス工業流各種データの「見せる化」による意識改革等について紹介いただいた。

同社竜ヶ崎工場では、1968年11月に操業を開始され、現在では主に戸建住宅・賃貸住宅用部材(鉄骨部材、外壁パネル、

木質パネル)の生産を行っている。また、東日本大震災を受け、今後発生しうる大規模地震等の自然災害に備えて“防災性を高めるため”、また、“将来を見据えた生産体制の強化を図るため”に、次世代環境配慮型工場へ建替えを実施。同社の環境対策・エネルギー対策への取り組みは、外部からも高い評価を得ており、平成24年度は事務所部門での取り組み、平成25年度は工場部門での取り組みにおいて、省エネ大賞での最高位の経済産業大臣賞を2年連続受賞され、環境保全行動などにも積極的に取り組んでいる。

参加者からは「生産状況や作業環境を“見せる化”し、エネルギーや稼動状況などの各種データを従業員の目に触れさせ意識改善につなげている様子を見聞し、多くの気づきを得ることができ有意義な見学会であった」などの感想が寄せられた。

青年経営研究会

3県合同役員例会を開催

青年経営研究会(会長 杉崎和彦氏 杉崎計器(株)代表取締役社長)は、3月23日(金)、埼玉&千葉&茨城の3県青年

部役員の間による「3県合同例会」を開催、3県合わせ35名の参加者を得た。

例年持ち回りで開催してい

る同例会は、本年度は茨城がホストとなり、つくば市の“産業技術総合研究所”の視察&交流会を行った。

産業技術総合研究所では、初めに同所・地域連携推進室長の川村氏より、産総研の概要と昨今力を入れて取り組まれている企業との共同研究について具体例を踏まえ解説頂いた。川村氏は「産総研は敷居が高いと言われがちだがそんなことはなく、私の所属する部署の目的はまさしく皆様との連携を推進するために設けられた。この後、見学頂く“サイエンス・スクエア つくば”には、共同研究&連携により生まれた成果を展示しているので、是非ご覧頂きたい」と説明があった。

また当日は同所・臨海副都心センターより、人口知能研究セ

ンター・上席イノベーションコーディネータの杉村領一氏にお越し頂き“AI・ロボット研究の最前線—中小企業におけるAI活用策—”と題して講演頂いた。

杉村氏は「AIの目まぐるしい進歩により、我々を取り巻く環境は日々劇的な変化を遂げている。技術的な進歩は当然ながら、倫理的な側面に配慮したAI設計の標準化を目指すISO規格化の動きもでてきており、私も微力ながらお手伝いさせ



て頂いている」と語り、最先端の研究のトレンドについて解説を頂いた。

視察後には別会場で交流会も併設され、和やかな雰囲気の中、積極的な情報交換が行われた。

支部だより

APR. 2018

Branch office report

県北地区支部

行政懇談会を開催



県北地区支部(支部長 大原弘彰氏 (株) 茨城サービスエンジニアリング 代表取締役社長)は3月22日(木)、(株)常陽銀

行高萩支店 会議室(高萩市)にて“大部勝規高萩市長との懇談会”を開催した。50名が参加した。

同懇談会は“行政と企業の相互理解を深める”という視点から例年開催している。本年度は、高萩市長の大部氏をお招きし「高萩市の市政運営について」と題し、

講話を頂いた。

当日の参加者からは、「非常に危機的状況にあることが実感できた。企業としての喫緊の課題は“人口減少”すなわち“働き手の不足”である。行政、企業、そして地域が一体となり、課題解説へ尽力することが大切。」との意見があった。

講話終了後には、大部氏にもご臨席を賜り、白木屋旅館(高萩市)にて懇親会を開催した。



挨拶に立つ加子支部長

日立地区支部（支部長 加子茂氏（株）日立ライフ代表取締役社長）は、3月22日（木）、ホテル天地閣において支部総会を開催した。

支部総会では、はじめに加子支部長が挨拶に立ち「会員の皆様方におかれましては、ご出席を頂きまして誠にありがとうございます。経協活動につきましては、『会員間の交流と連携』をこれまで以上に強め、経営力の向上と地域経済の活性化に寄与していきたいと考えております。事業詳細につきましては、今後とも会員間の交流、ネットワークづくりに寄与するとともに、研修事業や採用支援、政策提言活動などを通じ

ながら、皆様のお役に立てる活動を進めて参りたいと存じます」と述べられた。引き続いて、水出浩司幹事長（（株）日立製作所日立事業所庶務課長）より平成29年度支部活動報告

ならびに平成30年度支部活動計画が発表された他、協会活動報告、新入会員紹介が行われた。出席者は55名であった。

総会終了後は、記念講演会としてドルフィア（株）代表取締役の井下田久幸氏をお招きし、「『人』をここまで活性化させるIT技術の最新動向」についてご講演頂いた。

講演では「最近のダニエル・ピンクが示した『やる気に関する驚きの科学』においては、やる気、モチベーションは3つの階層に分けられる。第1階層の『モチベーション1.0』は、生物学的な動機付けとされ、飢餓動因、渇動因、性的動因など。第2階層の『モチベーション

2.0』は、アメとムチを中心に構築された外的な動機付けであり、ルーチンワークには有効。ヒューリスティック（発見的、試行錯誤的方法）には、有害な場合が多い。第3階層は『モチベーション3.0』であり内発的動機付けとされる。自分の内面的から持続的に沸き出てくる、何かを学びたい、創造したい、世界を良くしたいという、内面からくるやる気。現代では、社会はヒューリスティックを欲しているが、ビジネスの世界ではこのような新たな動機を十分に活かしてきていないと言える。『モチベーション3.0』内発的動機付けを発現させるには、社員に限界を越えた時の『喜び』と『感動』を教えることが重要といえる。限界を越える喜びは、必ずしも仕事上の出来事とは限らず、日常生活の中において、何かしらチャレンジさせることが求められる」と語られた。

講演会終了後は、交流パーティを開き、懇親を深めた。



新入会員からの挨拶



井下田講師

常陸・那珂地区支部（支部長 柳生修氏 コロナ電気（株）代表取締役）と水戸地区人事労務担当者会議（代表幹事 川上康郎氏 茨城交通（株）常務執行役員）は共催により、3月8日

（木）、茨城県産業会館大会議室で“人事労務セミナー”を開催。65名の参加を得た。

同セミナーは“使用者側の視点に立ち、実務に沿った解説が非常に分かりやすい”と例年参

加者からの評価が高い、丸尾法律事務所の丸尾拓養弁護士をお招きして、指導いただいた。

本年のテーマを「役員・経営幹部に必要な経営知識と実務を学ぶ 経営の視点からの人事

労務知識」とし、重要な経営課題となっている“働き方改革”を踏まえつつ、経営の舵を取る役員の立場として把握すべき労務管理のポイントについて解説頂いた。

参加者アンケートでは「有期契約社員の無期転換の際の注意事項が大変参考になった」、「丸尾氏が語った就業規則を点検すべきポイントについて、当社の就業規則にも留意すべき箇所があったため、考え方を整理することができてとても有意義であった」といった感想が寄せられた。



取手・龍ヶ崎地区支部

「ビジネスマンが真に伸ばすべき脳力とは何か」をテーマに講演会を開催



取手・龍ヶ崎地区支部（支部長 九鬼理宏氏 キリンビール（株）取手工場長）は、3月6日（火）、キヤノン（株）取手事業所において、講演会および会員交流会を開催した。

講演会では、「ビジネスマンが真に伸ばすべき脳力とは何か～企業・組織の指導者などが伸ばすべき脳力と脳の鍛え方～」と題し、人間性脳科学研究所長、武蔵野学院大学&大学院教授の澤口俊之氏に、ご講演をいただいた。

澤口氏の専門は神経科学、認知神経科学、霊長類学。近年は乳幼児から高齢者の幅広い年齢層の脳の育成を目指す新学

問分野「脳育成学」を創設・発展させ、自ら研究と実践に取り組み人間性脳科学研究所を設立。本講演会では、脳のコントロールセンターのような役割を果たしている“前頭前野（脳の活動性の調節に重要な役割を果たしている領域）”の効果的な伸ばし方などを中心に脳の活性化に向けた内容を科学的に解説いただいた。

講演会終了後には会員交流会も行い、参加各社が名刺交換をするなど交流を深め散会した。

古河・坂東地区支部

「近時の3つの労働契約法改正の対応」をテーマに労働法セミナーを開催

古河・坂東地区支部（支部長 阪好弘氏 京三電機（株）取締役社長）は2月27日（火）、ホテル山水（古河市中央）にて“労働法セミナー”を開催した。16名が参加した。

同セミナーは“会社を守るためにどのような対応をすべきか”という視点から、弁護士法人萩原総合法律事務所の萩原慎二弁護士をお招きしてご指導いただいた。

本件テーマを「近時の3つの労働契約法改正への対応」とし、

①有期労働契約の期間の定

めのない労働契約への転換にどう対応していくか？

②有期契約の更新拒絶はどのような場合に認められるか？

③不合理な労働条件の禁止

規定で同一労働、同一賃金は進むのか？

④高年齢者雇用で注意すべき点はどこか？

の以上4項目を中心に、対応策を解説頂いた。



鹿行地区支部

「企業として災害減少を図るためには」を題し、災害防止セミナーを開催

鹿行地区支部（支部長 太田晃三氏 新日鐵住金（株）鹿島製鐵所 副所長）は3月6日（火）、新日鐵住金人材育成センター（鹿嶋市光）にて“災害防止セミナー”を開催した。23名が参加した。

同セミナーは“現場の安全衛生担保は、企業にとって取り組まなくてはならない永遠の課題”という視点から、安全コンサルタントの相蘇淳一氏をお

招きしてご指導いただいた。

テーマを「企業として災害減少を図るためには～効果的な取組事例から学ぶ～」とし、

①会員企業で取組み可能な事例～新規入場者の7日間声かけ運動～

②会員企業の個別事業所で取組み可能な事例～見える化事例～

③災害発生時の企業のリスクを知る。～刑事責任と

民事責任～

の以上3項目を中心に解説を頂いた。

参加者からは、「様々な取組み実績を拝見し、明日から更に積極的に取り組んでいきたい。」「災害防止といえど、実際に起きた事故や裁判の判決、賠償金など具体的事例が非常に参考になった」との声が聞かれた。

産業政策に関する会員ニーズアンケート調査へのご協力をお願い

一般社団法人茨城県経営者協会
産業政策委員会

拝啓 会員企業の皆様におかれましては、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、当協会活動について格別のご指導、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では、例年、会員企業の皆様からお寄せ頂いた県行政へのご意見、ご要望をもとに、茨城県に対して産業政策に関する要望書を提出しております。

平成29年度は合計53項目の要望を茨城県へ提出し、茨城県より「平成29年度県政要望に係る現況・対応」を受領しました。同資料並びに「回答のポイントと評価」につきまして、平成30年4月初旬に会員企業の皆様へ郵送させていただきましたが、お目通しいただけましたでしょうか。

平成30年度におきましても、要望書策定にあたり、皆様からの県行政に対するご意見、ご要望をお伺いしたく、アンケート調査を実施しております。アンケート用紙は上記資料に同封させていただきましたが、FAXの他、当協会ホームページからのご回答も可能となっております。

当協会の会員構成は、企業規模では大企業から中小企業まで、所在地としては広域の茨城県全域において、様々な業種の企業から成り立っておりますが、各企業、各地域が抱える課題解決及び経営環境の改善に向けて、県行政への意義ある要望活動を進めてまいりたいと考えております。ぜひ、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

尚、既にご回答を頂戴した会員企業様におかれましては、本件ご容赦いただけますよう、お願い致します。

敬具

記

1. ご回答依頼文書：平成30年度「産業政策に関する会員ニーズ」アンケート調査
2. ご回答期限：集計作業、要望書提出時期の都合上、5月15日（火）までにご回答くださいますようお願い申し上げます。
3. ご回答方法：FAXでのご回答は、029-224-1109へお願いします。
当協会のホームページを利用してご回答される方は、
<http://www.ikk.or.jp/>へアクセス願います。
※ホーム画面左側のメニューより「政策提言活動」を選択下さい。
4. お問い合わせ先：（社）茨城県経営者協会 事務局 柳澤 宛
電話：029-221-5301 Eメール：yanagisawa@ikk.or.jp

以上

『平成29年度会員増強運動』の状況

～お蔭様で過去最高を更新中 会員数1,203社！～

【会員の状況】（平成30年 3月31日現在）

項目	支部	県北	日立	常陸・那珂	水戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ヶ崎	県西	古河・坂東	鹿行	合計	
28年度末会員数		46	97	112	320	181	73	98	57	133	1,117	
入会数		4	9	14	26	24	7	9	13	8	114	
退会数			3	1	8	4	1	4	2	5	28	
会員数		50	103	125	338	201	79	103	68	136	1,203	
											前年度比	+86
											平成29年度目標（修正目標）	1,180
											目標比	+23

【プラス70会員紹介キャンペーンの進捗状況（最終実績）】（平成30年 3月31日現在）

【キャンペーン概要】

■実施期間：平成28年12月15日～平成30年3月末日（重点期間：平成28年12月15日～平成29年6月7日）※創立70周年記念式典迄

■目標：各支部4社×9支部=36社、役員・事務局で34社のご紹介により年度目標（修正目標）1,180社の達成を目指す。

	県北	日立	常陸・那珂	水戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ヶ崎	県西	古河・坂東	鹿行	合計
支部関係者	4	7	4	4	4	4	5	4	16	52
本部役員 事務局	2	8	18	32	30	6	10	15	14	135
合計	6	15	22	36	34	10	15	19	30	187

※支部関係の実績は、紹介頂いた方の所属支部ベースでカウント。

- ▷ プラス70会員紹介キャンペーン（約1年4ヶ月）が3月末で終了しました。
- ▷ 皆様のおかげをもちまして、期間中187社のご紹介及びご入会を頂きました。
- ▷ 皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。
- ▷ 当キャンペーンは終了しますが、入会企業のご紹介は歓迎しております。
- ▷ 「自社の経営を高めたい」、「地域に貢献したい」企業様のご紹介をお待ちしております。
- ▷ 詳しくは茨城県経営者協会事務局（TEL029-221-5301）までご連絡下さい。

新入会員紹介

インターソシオシステム株式会社

■代表取締役 小野瀬 直人



Data
所在地／ひたちなか市春日町8-4
T E L 029-276-1511
業 種／ソフトウェア受託開発・
情報サービス業
従業員／46名

Appeal point

弊社は1988年に設立し、ソフトウェアの受託開発を行って参りました。おかげさまで今期30周年を迎え、幅広い分野のシステム開発や各種ITソリューションに携わることができるようになりました。

弊社は「笑顔」を経営理念としています。お客様に最適なサービスを提供し、そのサービスを利用して頂くエンドユーザー様には、より一層の価値と満足を届けようと努めております。お客様に感動と笑顔を提供できる事が、私どもの笑顔となります。

これからも「笑顔」を信条に、顧客ニーズの変化を常に読み取り、柔軟かつ敏感な対応ができる会社を目指していきたいと思っております。

株式会社かつら設計

■代表取締役 中村 國夫



Data
所在地／東茨城郡城里町
大字御前山251-1
T E L 029-289-2330
業 種／測量・調査・補償・
建設コンサルタント
従業員／31名

Appeal point

弊社は、平成元年に設立し建設関連業のコンサルタントを営む会社でございます。

地方公共団体からの業務委託を受け、道路・河川など公共事業に係る調査、測量、設計業務を受注し「21世紀のふるさとづくり」をモットーとした地域密着型の総合建設コンサルタント業を展開しております。

近年では、国土交通省における建設現場の生産性の向上を目的とした情報化の取組であるi-construction導入に対応し、いち早くUAVを活用し地形や構造物などの3次元測量に力を注ぎ、日々技術力を積み重ねております。

今後も着実に高度専門技術を身に付け、常に最高のパフォーマンスをお客様にご提供できるようチャレンジし続けてまいります。

協三工業株式会社

■代表取締役 蓮田 章治



Data
所在地／茨城工場
北茨城市関本町富士ヶ丘1270
本 社
横浜市神奈川区西寺尾1-13-16
T E L 茨城工場 0293-46-1541
本 社 045-401-1966
業 種／建設機械・
産業機械等の部品製造
従業員／48名

Appeal point

昭和38年に横浜市にて自動車・トラック・建築物等の部品製造会社として創業し、金型製作から部品加工・溶接加工を行っておりました。平成元年に北茨城市に工場を建設し、今後の多品種少量生産に対応していくために脱金型をコンセプトとして、24時間稼働のレーザー切断加工システム構築やロボット溶接加工等を取り入れ、建設機械や産業機械・土木金属加工品等の部品製作を行っております。

今後も顧客ニーズの対応および地域社会貢献により信頼される企業に成長できるように努力してまいります。

株式会社鶴田組

■代表取締役 鶴田 哲男



Data
所在地／那珂市菅谷4458-73
TEL 029-298-1135
業種／建設業
従業員／25名

Appeal point

弊社は、昭和38年に創業してから55年間、土木建設業を営んでいます。現在は、公共事業を主体に道路・上下水道・コンクリート構造物等を施工しています。また、宅地造成・外構工事等の民間工事にも力を入れています。営業エリアは、那珂市を中心として近隣市町村です。

「建設工事を通して、顧客の満足と信頼に応え、地域社会に貢献する。」をモットーに、発注者・施主はもとより、施工したものを利用するエンドユーザーにも信頼される企業を目指しています。

株式会社トーネジ

■代表取締役 岡部 純



Data
所在地／つくば市みどりの中央85-2
TEL 029-846-6101
業種／金属製品製造
(ボルト・ナット)
従業員／60名

Appeal point

顧客ニーズを先取りしたオリジナル開発商品を提供するねじメーカーです。

国・県・市3つの補助事業を活用して一昨年の8月に埼玉県三郷市より工場移転を致しました。また、本年4月より社名変更と共に東京都葛飾区より本社機能を移し、茨城県の企業として新たなスタートを迎えました。建築・土木向けを中心としたボルト・ピン類の製造と開発を手掛けており、立地したつくば市の生産・物流・雇用といった製造メーカーには欠かせない恵まれた環境を生かして、オンリーワン企業、グローバル・ニッチ・トップ企業を目指して参ります。

事務局の「夏の軽装」(クールビズ) 実施に関するご連絡

さて、当協会では、地球温暖化防止に向けた取り組みならびに節電の一環として、本年度も下記の期間中、事務局内のクールビズ(夏の軽装)を実施させていただきますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、茨城経協主催の会合には、軽装(上着なし、ネクタイなし)でのご参加で結構です。

記

1. 実施期間：5月14日(月)から
10月14日(日)まで
2. 具体的な取り組み
 - ①経協主催の諸会合でのノーネクタイ
 - ②事務局内でのノーネクタイ
 - ③昼休み中の事務室の消灯徹底

以上

心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

C-HR



茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851
TEL 0120-090110
<https://www.ibaraki-toyota.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



出前「防災教育」いたします

茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田 能洋

コモンズは昨年度、親子向け防災教室を2回ずつ行い小中学校でも防災講座を行いました。今後こうした防災をテーマにした事業を企業の皆さんとも連携して行っていきたいと考えていますので内容を紹介します。

○親子防災教室

対象 小学生の児童と保護者
30名程度（調理をしない場合は100名でも可能）

会場 テーブル、椅子とスクリーンとプロジェクターがある部屋
ダンボールベットやトイレの設置スペース（6畳以上、広いほど良い）
防災食を作って食べる場合は、お湯が沸かせる場所と食べる場所

内容 1映像と体験談で災害を疑似体験 スライドを使い、災害が起き、水や電気が止まった状態で何に困るか、街がどうなってしまうか、避難所とはどういうところか、常総水害の実例を説明。参加者は、自分の家族はどうするか話し合いながら、備えることの重要性を学ぶ。

2防災グッズを体験

トイレに設置する防災トイレで凝固剤が固まるのをのんだり、災害ように開発された自動汚物処理トイレを見たり、エアベットを膨らませ

たり、手回しラジオで充電してみたり、様々な防災グッズに触れてみる。防災グッズのカードを用いて、我が家が備えたい10種類を選んでもらい、どんな時に使うのか、どこで入手できるかを学び我が家での実践につなげる。（防災セットの販売も可能）

3防災食にチャレンジ電気が止まった状態で、冷蔵庫に残っていきそうな食材をビニールとお湯だけで温めて作る料理方を体験。水と鍋とカセットコンロだけあれば調理できる。（焼きそば、ピザ、ご飯など）

上記の内容で約2～3時間です。資機材は全てコモンズが準備できます。パルシステム茨城の会員の家族向けに2回

行いましたが、「写真と体験談で災害時にどうなるかわかった」「様々な防災グッズに触れ、どんなものがどんな時に必要になるか理解できた」「すぐ災害のことを忘れてしまうが我が家の備えを点検したい」「時々災害食を食べるようにしたい」などの感想が寄せられています。いざという時、どこへ避難するか、など家族で話し合いを深めることもでき、地域の歴史や環境、学校にある物的なバリアの解消法、近所付き合いの大切さなども考えることができます。顧客向けの催事、従業員とその家族向けの行事、従業員向け防災と地域貢献の研修、学校での寄付講座など、是非ご検討ください。

関心のある方はコモンズ横田までご連絡ください
(0297-44-4281)



貴社、代表者、ご担当者、所在地等に変更がある場合は、下記変更届をご記入の上、事務局までFAXにてお知らせください。

会 員 デ ー タ 変 更 届

(一社)茨城県経営者協会(FAX029-224-1109)行き

平成 年 月 日

※お手数をおかけして恐縮ですが、ご返信よろしくお願ひします。
※太枠の中のみご記入ください。

1. 変更事項 代表者変更 社名変更 住所・TEL・FAX変更
 委員変更 支部役員・幹事 その他

2. 内容変更 (旧)



(新)

異動日 年 月 日

新任の方のメールアドレス

※代表者変更の場合、前任者の異動先・役職・退任もご記入ください。

前任者の異動先・役職

3. 担当者 会社名

所 属

担当者氏名

TEL

FAX

※その他、事務局へのお問い合わせ、ご連絡事項がございましたら下記にご記入ください。

[_____]

地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。
地域エリアの皆様とともに、未来に向かって力強く前進いたします。



あゆみ 筑波銀行は地域振興支援プロジェクト『あゆみ』に取り組んでいます。



<http://www.tsukubabank.co.jp>

筑波銀行

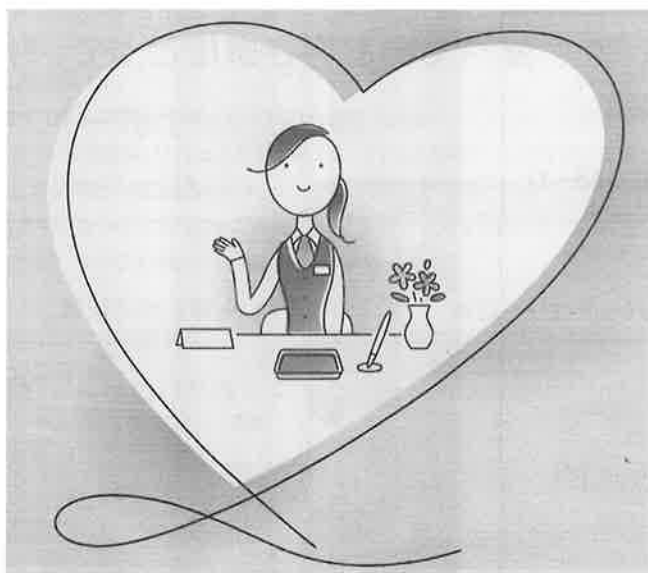
検索する



筑波銀行

Tsukuba Bank

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたにも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

【当協会年会費「口座振替」開始の御案内】

当協会では、会員様の利便性向上ならび事務負担軽減の観点より年会費の口座振替を「平成30年下期会費(平成30年10月)」より開始することとなりました。

お手続きの方法のお申込みにつきましては、「平成30年3月頃」に会員様にご連絡をさせていただきますので、お手続きのご協力をお願い致します。

【年会費口座振替のお申込から開始までの流れ】

ステップ1 (平成30年4月頃)

当協会より「年会費の口座振替の申込書」「預金口座振替依頼書」「返信用封筒」の3点を郵送いたします。

ステップ2 (平成30年4月～6月)

郵送させていただきました「年会費の口座振替の申込書」および「預金口座振替依頼書」に、必要事項をご記入のうえ、返信用封筒でご送付ください。

※平成30年10月からの口座振替を希望の場合は、平成30年6月迄にお申込ください。

ステップ3 (平成30年10月)

当協会にて手続きを行い、年会費の口座振替を致します。

【口座振替をすると、下記のように便利になります】

1. 銀行に行く手間や都度の振込手続きが不要です！！
2. 振込手数料の負担がなくなります！！
3. 通帳にて引落とし内容をご確認いただけます！！

【お問合せ】

一般社団法人茨城県経営者協会 事務局 澤畑(英)、石川

Tel: 029-221-5301 Fax: 029-224-1109

E-mail: info@ikk.or.jp

平成30年度定時総会の予定

と き 平成30年6月18日(月)13:30～18:00

ところ 水戸プラザホテル2Fボールルーム(水戸市千波町2078-1)

《スケジュール》

開 会 (13:30)

会長挨拶 会長 鬼澤 邦夫

来賓祝辞 茨城県知事 大井川 和彦氏

議 事

記念講演 (15:00～16:20)

「企業力の源泉と経団連が予想する未来“Society5.0”」

講 師 三菱電機株式会社取締役相談役

日本経団連副会長、未来産業・技術委員長

日本トルコ経済委員長 山西 健一郎氏

交流パーティー (16:30～18:00) 1Fガーデンルーム